
罪人

奈津美

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

罪人

【Nコード】

N9730A

【作者名】

奈津美

【あらすじ】

ある日、哀は自分のいた世界について考えた。少しシリアスな話です。

(前書き)

話がまとまってない・・・。

私はあなたを小さくしてしまった。

私はあなたの幸せを奪ってしまった。

それなのに・・・どうして？

どうしてあなたは優しいの？

どうして・・・。

「哀ちゃん・・・？」

ハッと気づいた。

「大丈夫？」

私はいつの間にか寝ていた。

授業中なのに・・・。

「哀ちゃん・・・うなされてたけど平気？」

「ええ・・・平気よ。」

笑っちゃうわね。

昔は普通に薬作ってたのに

今じゃ小学一年生。

カタカタとパソコンを打つ毎日だったのに

今じゃ黒板とにらめっこ。

「……。」

空は青い……。

雲ひとつ無い綺麗な空。

私が住んでた世界とは違う。

空なんか見えない。

外の世界すら見えない。

暗い地下で

薬を作り続けていた。

私には縁の無かった世界ね。

・・*・*・*・*・

「哀ちゃん、今日変だったよ。」

「そう?」

「なんか・・・つらそう。」

「そんなことないわよ。」

「灰原、道に落ちてるモンでも食ったのか？」

「元太君じゃあるまいし。」

「なんだと、光彦！」

「おいおい・・・やめろよ。」

ねえ、江戸川君。

あなたにとってこれが普通の生活なのね。

毎日楽しくて・・・明るい。

私とは違うわ・・・。

「あつ、バイバイコナン君、哀ちゃん！」

「じゃーなー！」

「また明日学校でー！」

あの子達の心は綺麗ね・・・。

汚れてなんていないもの・・・。

うらやましいわ。

「灰原・・・お前、変なこと考えてるんじゃない。」

「江戸川君。」

「あん？」

「空が見れるって素敵なことよ。」

「はあ？」

「外の世界が見れるって幸せなことよ。」

「・・・??」

私は罪人。

本当はこんな所にはいけない。

けど、江戸川君・・・言ってたわよね。

『自分の運命から逃げんじゃねーぞ。』

あの言葉・・・嬉しかったのよ。

すごく・・・。

私の心を洗い流してくれた・・・

そんな気がした。

「灰原……。」

「なによ。」

「組織のこと考えてねーだろーなあ。」

「……そうかもね。」

「お、おい……。」

「ただ……幸せよ。」

私は笑って言った。

「そっか……ならいいけどよ。」

「それより、彼女に電話するんでしょ？」

「ああ、じゃあな灰原。」

彼は走っていつてしまった。

見えなくなった時

切なくなった……。

罪人でも

感情はあると

あらためて実感した。

ダメ・・・。

カレニハカノジヨガイル。

ワタシハツミビト。

コンナカンジヨウヲモツテハイケナイ。

ワタシニハ、クスリヲツクルトイウシゴトガアルノ。

エドガワクンハトモダチ。

ソレダケヨ・・・。

「ただいま。」

「おかえり、哀君。」

ワタシハツミビトダケド

カエルバシヨハアル。

ソレダケデ・・・

シアワセ・・・。

（後書き）

奈津美です。

この話は「ライバルは中学生!？」を書く前に
書いたものです^^

全く直さず投稿してしまいました^^;

文書力が無いですよww

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9730a/>

罪人

2010年10月10日00時16分発行